

National Academy of Inventors(NAI)米国国立発明家アカデミーと KAATSU INTERNATIONAL UNIVERSITY(KIU)加圧国際大学は、NAI フェローを発表

東京(2013年12月10日) - 加圧国際大学の学長・佐藤義昭医学博士は、National Academy of Inventors(NAI)米国国立発明家アカデミーのフェローと命名されました。

NAI フェローの選出は、優れた発明を行い、それを実用化することで、生活の質、経済の発展、社会福祉において確実な影響を与え、技術革新への多産の精神を実演している学術的な発明者を選び出すためのものです。

NAI フェローに選出されている143名の発明者は、94の大学、政府機関及び非営利研究機関の代表者たちです。彼らの持つ米国内の特許を合わせると5,600件以上に及びます。

2013年のNAI フェローには、研究大学や非営利研究機関の上級幹部26名、国立アカデミー(IOM、NAS、NAE)会員69名、全米発明殿堂5名、米国国家技術革新賞受賞者6名、米国国家科学賞受賞者2名、ノーベル賞受賞者9名、その他主要な賞の受賞者が含まれます。

NAI フェローは、2014年3月7日に、バージニア州アレクサンドリア市の米国特許商標庁の本部で開催されるNAIの第3回年次総会の中で、米国特許商標庁副長官のアンディ・ファイリ氏より任命されます。フェローには、特別なトロフィーとロゼットピンが贈呈されます。

NAI フェローは、*The Chronicle of Higher Education* 及び *Technology and Innovation – Proceedings of the National Academy of Inventors* でフルページの広告の中で紹介されます。

佐藤義昭医学博士は、現在、加圧国際大学学長を勤めています。彼は加圧トレーニングを発明し、加圧トレーニングに関する査読出版物で100以上共同執筆し、日本、米国、フランス、ドイツ、イタリア、オーストラリア、中国、韓国、カナダ、香港その他の国々で加圧トレーニングやその器具に関する47の特許を保持しています。

彼は東京大学22世紀医療センター 加圧トレーニング虚血循環生理学講座寄附者であり、中国国家体育总局体育科学研究所 加圧センター及び中国吉林大学中日聯誼医院 加圧医療センターの責任者であり、日本加圧トレーニング学会会長、米国スポーツ医学会加圧分科会チェアマンであります。

佐藤博士は、加圧トレーニング（血流制限下の運動）における効果を発見して、加圧トレーニングによる健康やフィットネスに対する効果をもたらすための器具とプロトコルの開発に生涯を費やしてきました。彼は日本と米国両国で新しい医療分野の応用に向けた研究を続けています。

彼は、また国連グリーンクロス・スリランカの特別顧問であり、Sir の称号、エルサレム聖ヨハネ騎士団・勲爵士に叙任されました。

NAI フェローのランクに選ばれる学術的な発明家および革新家は、特許およびライセンス、革新的な発見や技術、社会への多大な影響、技術革新の支援と強化に対して、めざましい貢献を果たしたとして、同じ分野の専門家達によってノミネートされました。

NAI フェロー選考委員会は、NAI 憲章フェロー、米国国家賞受賞者、全米発明殿堂入り会員、米国国立アカデミー会員、特許商標庁上級幹部代表者、アメリカ科学振興協会会員、大学技術マネジャー協会会員、全米発明殿堂入り会員を含む総勢 13 名で構成されます。

National Academy of Inventors® は、米国および国際的な大学組織、政府および非営利研究機関から成り立つ、501 (c) (3) で規定される非営利組織であり、200 以上の機関から 3000 名以上の発明会員を持ち、急速に成長しています。2010 年に設立され、米国特許商標庁発行の特許を保持する発明家の認識と奨励、学術的な技術革新の可視性の強化、知的財産開示の奨励、発明家を目指す学生の教育と育成、および会員の発明を社会に有用なものへと変換することを目的としています。NAI は、*Cognizant Communication Corporation* (ニューヨーク州) が出版する学際的なジャーナルである *Technology and Innovation – Proceedings of the National Academy of Inventors* を編集します。 www.academyofinventors.org

(原文は [こちら](#) から)